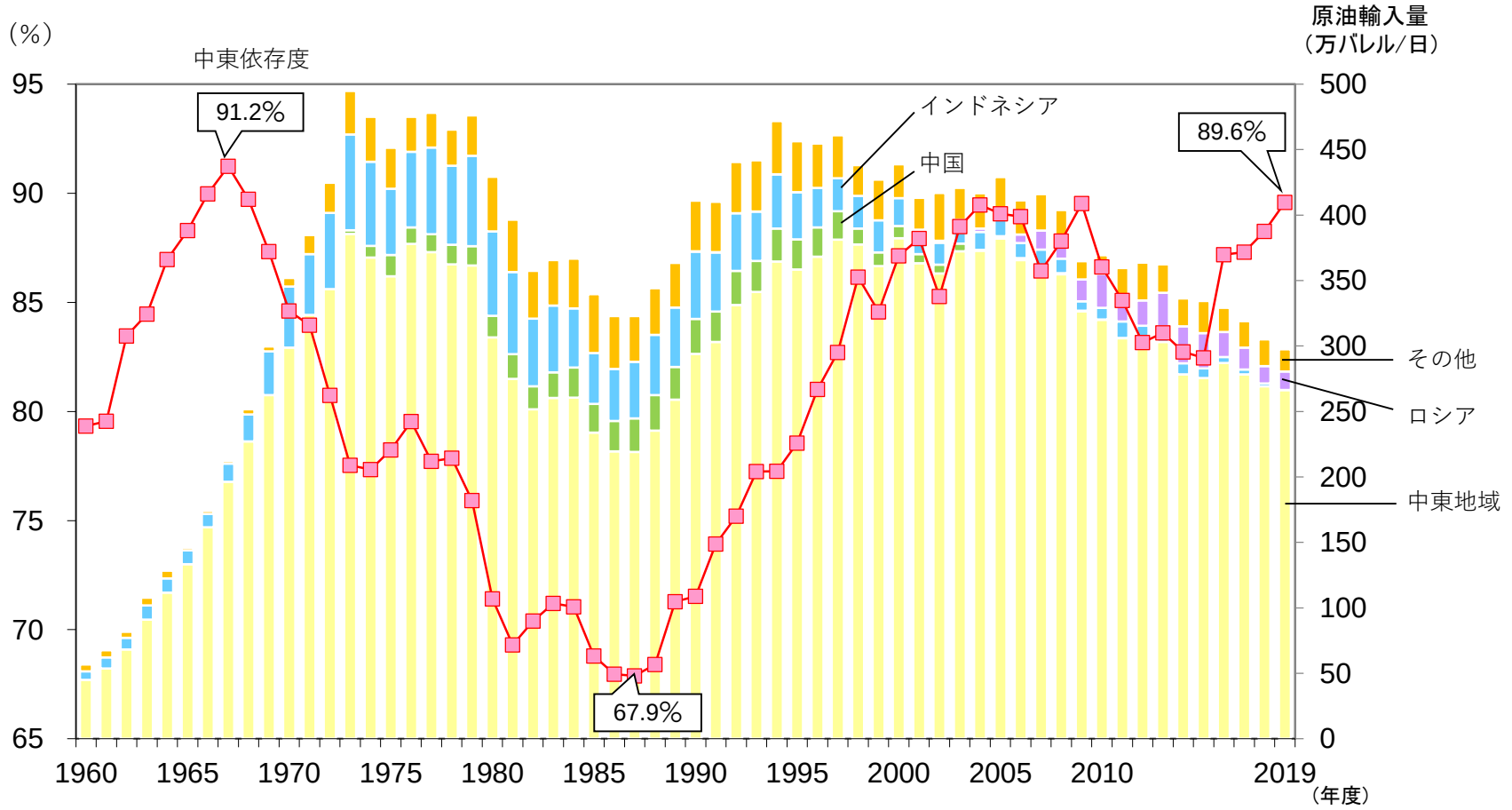
日本の原油輸入量と中東依存度の推移

- 日本は、石油危機の経験から、インドネシアや中国からの原油輸入量を増やすなど、輸入先の多角化を図り、1967年に91.2%であった中東地域からの輸入割合を1987年には67.9%まで低下させました
- 近年は、中東依存度が再び上昇しており、2019年度は89.6%となっています



出典：資源エネルギー庁「資源・エネルギー統計年報・月報」をもとに作成